

卒業生の声、集めました

2015/7/15～2015/8/10 まで、3 区を卒業した当事者の声をインターネットで募集しました。ここではメッセージを書いてくれた人の声を一部抜粋して紹介します。

FTM (身体は女性、性自認は男性)の橋本さん(仮名)

年齢:25 歳

出身:都島区高倉中学校出身

小学校低学年のときには違和感を感じ始めていたが、知識も情報もあまりなかったので、自分がそうだと気付いたのは高校生になってからだった。水着や制服、男女別の授業、「女らしくしろ」と言われることが嫌だった。高校に入って同じ悩みをもつ友人ができたことで救われた。授業で「多様な性」について学ぶ授業があれば、自分の悩みに早く気づくことができ、周りから変ないいがかりを付けられて悩むこともなかったのに……。

FTM(身体は女性、性自認は男性)の森川さん(仮名)

年齢:26 歳

出身:記名なし

小学校のときは自分ではよくわからない感情があり、それを周囲に伝えられないことが苦しかった。中学校の時に周りとは違うと思った。高校のとき先生に性別について打ち明けると「先生のまわりにもいる」と言われて救われた。タイツ以外の代替案を提案してくれて助かった。図書館に本があれば高校まで悩むことはなかったと思う。LGBT のニュースについてなど情報提供がほしかった。

レズビアンの出口さん(仮名)

年齢:29 歳

出身:都島中学校

高校で好きな同性の先輩ができました。自分の気持ちがよくわからず、悪いことをしているような気持ちになりました。「ゲイが大嫌いだ」と公言している先生もいて、傷ついた子もいたんじゃないかと思う。高校では仲のいい友人に話していましたが、LGBT の仲間に出会うことができませんでした。夏休みに参加できる LGBT のイベントのチラシを終業式の日配ってほしいです。